



任意接種ですがとても大切なワクチン「**おたふくかぜワクチン**」。今回は**おたふくかぜとそのワクチンの必要性**についてのお話です。

## おたふくかぜとは・・・

ムンプスウイルスにより、耳下腺（耳の下の唾液腺）が腫れる感染症です。両側の耳下腺が腫れると「おたふく」の面になるので、**おたふくかぜ**といわれます。

2～3週間の潜伏期後に耳下腺が腫れ、痛みや熱を伴うことも多いです。飛沫感染（咳やくしゃみなど）で感染します。

髄膜炎や脳炎などの合併症を起こす場合もあります。思春期および成人男子がかかると睾丸炎を起こすことがあります。また難聴（ムンプス難聴）を起こすこともあります。

おたふくかぜに対する治療薬はなく、痛みや熱などの対症療法が中心になります。また、ムンプス難聴はかかってしまうと治すことができません。

**そのため、ワクチンによる予防が推奨されています。**



### 罹患後の登園登校のめやす

耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ熱なども下がり、全身状態が良好であれば登園・登校できます。

### おたふくかぜで難聴336人 2年間「ワクチン定期化を」

【産経新聞】2017/09/06 東京朝刊 第3社会 22頁 749字

子どもを中心に流行するおたふくかぜ（流行性耳下腺炎）にかかり、一時的なものを含め難聴になった人が2年間で少なくとも336人に上ることが5日、日本耳鼻咽喉科学会の調べで分かった。これまでも難聴になる危険性は指摘されていたが、全国調査で規模が明らかになったのは初めて。同学会は「静観すべきではない」として、現在接種率が低いワクチンの定期接種化を厚生労働省に要望する意向を示した。

同学会は今年2月から、全国の耳鼻科約5600施設を対象に（回答率64%）、平成27年から2年間のおたふくかぜの難聴についての影響を調べた。

難聴になった336人に症状の重さなどを聞いたところ、約8割の261人が高度の難聴になったことが判明。両耳とも難聴になった14人中11人が日常生活に支障が出たため、補聴器を使ったり、人工内耳を埋め込んだりしたという。

特に子供への影響が大きく、難聴になったのは、10歳未満が151人、10代は69人で、未成年者65%を占めた。

同学会によると、日本は先進国で唯一、ワクチンが定期接種化されていない。接種率は30～40%と低迷しており「園や学校での大流行の原因となっている」という。同学会の守本倫子（のりこ）・乳幼児委員長は「『（おたふくは）自然にかかっておいた方がいい』という噂は間違っている。ワクチンの定期接種化を進め、難聴になって後から苦しむ人をなくしたい」と話していた。

## ★おたふくかぜワクチン（任意ワクチン）

・・・当クリニックでは1回5000円です。

### 【対象者】

1歳を過ぎたら、年齢と関係なく接種することができます。保育園や幼稚園などの集団生活に入る前に接種するのがよいでしょう。

### 【接種方法と回数】

皮下注射です。2回接種を推奨しています。  
1回目・・・1歳を過ぎたら早期に  
2回目・・・小学校就学前（5～6歳）

### 【その他注意点】

おたふくかぜワクチンは生ワクチンなので、接種後は4週間あけて、他のワクチンを接種してください。

同時接種が可能です。スケジュールなど気になることがありましたら、ご相談ください。



## 今月の絵本

「どうぶつえんがうちにきた！」 文 きむらゆういち  
絵 大島 妙子

わが家が突然どうぶつ園になったら…  
ある日、動物園のどうぶつ達がおおぜいやってきて…  
いえじゅうおおさわぎ！  
想像するだけでワクワクしますね。



## おしらせ

そらいろこどもまつりに来て下さったみなさま、ありがとうございました。

10月16日からインフルエンザワクチンの接種が始まります。接種ご希望の方はご予約をお願いいたします。詳細は窓口かホームページでご確認ください。  
今年を受診歴のあるかかりつけのお子さんのみ（成人除く）になります。

1回 3歳未満 2500円  
13歳未満は3～4週あけて2回接種  
13歳以上は1回接種



次回も  
おたのしみに～